

提言第9号 入院中に発生した転倒・転落による頭部外傷に係る死亡事例の分析

事例4

< 事例概要 >

- ・ 感染性心内膜炎で加療中の 80 歳代の患者。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖 無。
- ・ 転倒・転落歴 無。睡眠薬、抗精神病薬、抗うつ薬内服中。帰宅願望強く、離院あり。認知機能低下あり。頻尿・夜間排泄行動 有。
- ・ 転倒・転落リスク評価 実施。予防対策として、ベッドの高さを調整、3 点柵と離床センサーを使用。
- ・ 入院 43 日目、前夜より、頭痛、悪寒戦慄、発熱あり。明け方、廊下で物音があり、ベッドから離れた廊下に左側臥位で倒れている状態で発見。声掛けに反応はあり、指示動作は不可能。前頭部腫脹、左側頭部に擦過傷あり。頭痛あり。1 時間後、体動可能で、声掛けに開眼するが会話成立せず。2 時間後、前頭部血腫増大、意識レベル低下あり。その約 1 時間後にCT 実施。外傷性くも膜下出血と診断。転倒・転落 8 日後死亡。